令和元年度 第２学期 始業式 式辞

令和元年８月２９日

おはようございます。

４０日間の夏休みが終わり、今日から新学期が始まります。私の聞いている範囲では、４０日の間、君たち自身には大きな事故もなく、それぞれが無事に日々を過ごせたのは何よりです。

さて、１学期の終業式でお話しした「自分で決めた凡事徹底」の皆さんの達成度はいかがでしたか？

今年の夏休みには，水泳では京都で行われた全国大会で、斎藤くんが１００ｍ、２００ｍバタフライに出場し，埼玉チャンピオンとしてそれぞれ全国１３位、１４位という成績を残してくれました。市主催の海外派遣研修に参加した青木さん、井田さんは１週間オーストラリアで多くのことを学んできてくれました。また、実際の議場で行われた未来議会では、森さん、平野さん、米満さんの３名が、鴻巣市の未来のために市長さんをはじめ幹部の方に具体的な提案をしてくれました。

それ以外にも，多くの生徒が個人として部活動として「よさこいソーラン演技披露」など多くのボランティア活動に積極的に参加し，地域から多くの感謝と賞賛をいただきました。

さて，今日から２学期が始まります。

３年生は，自分の進路に向けて，まっしぐらに突き進む，去年までとは違う４０日間，「なんとかなる」ではなく，「なんとかしなくてはならない」夏休みを過ごしたことと思います。

１・２年生は，３年生からバトンを引継ぎ，部活動等に全力投球し、新たな自覚が生まれたことと思います。

その達成ぶりをこの後行われる学級活動の中で担任の先生方に話をしてみてください。私は，担任の先生方から君たちの頑張った話を聞けることを楽しみにしています。

さて，２学期は北翔祭、合唱コンクールなど大きな学校行事が計画されているだけではなく，生徒会活動が３年生から２年生へリレーされる学期でもあり，３年生が進路選択を行う学期でもあるので，『協力』という言葉を最も意識する学期になると思います。

約３０数年前の学園ドラマ「金八先生」の中で武田鉄也さんが言った有名な「『人』と言う字は「人」と「人」が支え合って出来ているんだ」という台詞，戦国武将の毛利元就の「三本の矢」の話も人はいつも『助け合う』こと，『協力する』ことの大切さを伝えています。

では，『協力』という言葉はどういう意味なのでしょうか。『協力』は，『三つの力を足すと大きな【力】になる』と書き表され，力を合わせる事，支え合うことの大切さを表しています。

つまり，この２学期は学級，学年，全校生徒の力を合わせて，みんなで大きな行事を，そして生徒会活動の充実を，進路選択を行う雰囲気創りを行うことで，吹上北中に大きな【力】が生まれてくるのだと思うのです。

もちろん、その基本は，これまで同様『凡事徹底』、－あいさつ、返事、脱いだ靴を揃える－を様々な活動の柱として，君たちが学習や学校行事，スポーツ等に『協力』して取組み，大きな『力』を発揮してくれることを期待して始業式の式辞とします。

令和元年８月２９日

鴻巣市立吹上北中学校長　関根　茂夫